

津波避難3原則 ①想定にとらわれない②命を守るために最善を尽くす③周りが逃げなくても逃げる

生前贈与と契約の大切さ

和歌山県金融広報アドバイザー 山本 美佐子氏

とても明るく元気な山本先生より、「遺産争い？」の生々しいお話や相続税・生前贈与に関するお話を伺いました。相続税の場合、平成27年から基礎控除の引き下げが行われ3,000万円+600万円×人数分になったことを元に、

- ・生前贈与（非課税）の中で暦年贈与「1年に110万円ずつの贈与」
- ・住宅用不動産の配偶者控除「評価額2,100万円まで贈与税無し」
- ・教育資金贈与「祖父母から孫へは1,500万円までは非課税」など

詳しくお話し下さいました。

また、遺言の大切さと遺言の種類についても様式が細かく決められていることも教えていただきました。

講師先生の仕事柄、家族内でのいがみ合いを見てこられたので、「お金は持って死ぬことはできない。」

「下手に残すと争いの元。」「今自分が人生を生き生き生きるために使いましょう。」という言葉が印象的でした。

※講師先生より、万場一困ったことがあったら司法書士総合相談センター（無料相談）の方に連絡をというお話もいただいております。



1年間を振り返り

耐久大学理事長 梅谷 美津世 氏

理事長より耐久大学の1年間を振り返って、今年度も多くの講座があり一つ一つを振り返りながら感想を含めたお話でした。また、各専科の取り組み状況やふるさと祭りへの作品出品で発表の場としたことや作品のすばらしさについても話されました。そして、耐久大学での運動会・遠足などの行事、広川町の「青少年健全育成大会」「人権映画鑑賞」へ参加したことを含めたお話はこの一年が走馬燈のように浮かんできました。まだ一年前のことだけれど懐かしく思えました。また、来年もがんばってみようと思えました。

耐久大学に体験入学してみませんか？

みんなで楽しく活動したりしましょう！

お問い合わせ 広川町民会館 TEL 63-2295
火曜日～土曜日（祝日除く） 8:30～12:00
13:00～17:00

広川町立図書館設立 寄付

3月13日（水）に梅谷理事長と清水顧問が西岡町長を訪問し、耐久大学生の皆さんがアルミ缶回収と募金活動で集めたお金に耐久大学会計から少し加えて、町立の図書館設立への寄付金10万円を寄贈しました。

その後、西岡町長よりお礼の言葉をいただきました。そして、新しい図書館についての思いも話して下さいました。本離れが進んでいる現在だけれど、町民ができるだけ活用できるようにしたという願いがあることや「小さな子どもに読み聞かせできるスペース」「学生が学習するスペース」等は欲しいということ等聞かせていただきました。

新しい図書館完成が待ち遠しいです。



町立図書館は老若男女が集える場所になるといいですね。

さすが耐久大学生！！

耐久大学の卒業式後、鮎茶屋で懇親会を行いました。卒業生だけでなく、耐久大学生全員が笑顔になるとても楽しい会でした。おいしいものを食べ少しのお酒も入り、各専科の出し物やカラオケの歌声を堪能しました。



みんな笑顔で輝いています！

